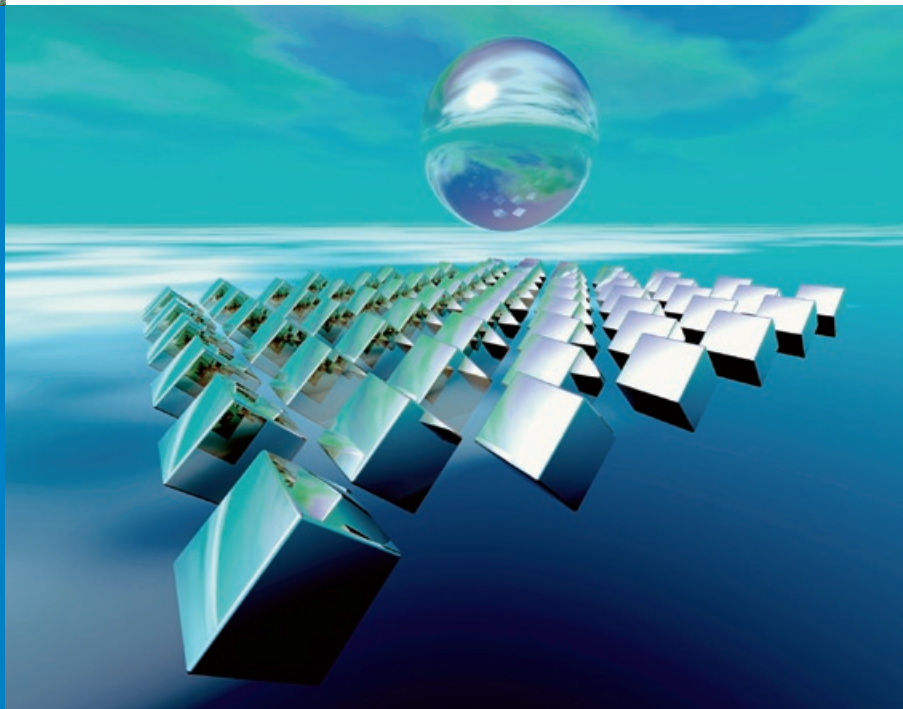




# 第64期 報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

## The Business Report



**黒田精工株式会社**

証券コード：7726

## ごあいさつ



代表取締役社長 前田哲也

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第64期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

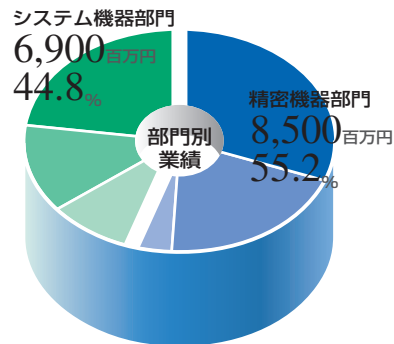
## 当連結会計期間の概況

当連結会計年度の国内外経済情勢を顧みますと、米国のサブプライムローン問題を震源とする金融不安、また原油やその他原料、資材の価格高騰による経済活動への影響が世界経済に動揺を与えました。日本でも、米国経済の低迷に引きずられる形で、株式相場の低落や民間設備投資停滞の現象が見られ、また建築基準法改正に伴う住宅建設への影響もあり、経済成長が減速傾向を見せました。

こうした環境の下で、当社グループの主要製品であるボールねじ、ツーリングについては、主要顧客であるIT関連業界や、自動車関連業界において前年度に比較し、やや低調な設備投資の展開となったため、売上が低迷しました。金型事業部門も価格・納期面での市場競争が激しく、また主要顧客の家電業界では設備投資見合わせの傾向もあり、売上減を余儀なくされました。精密測定装置はウェハーメーカーの設備拡充に支えられ、また工作機械も内外の中堅企業の底堅い需要を受け、それぞれ順調に売上を伸ばしましたが、全社的には、他の事業の売上減を補うには至りませんでした。また、利益率の改善を目指し、生産性向上活動ならびにコスト削減プロジェクトを展開し、相応の成果をあげましたが、工場新設の初期費用、減価償却費負担増、ならびに原料等のコストアップ要因も加わり前年同期比減収減益の結果に終わりました。

なお、平成18年3月の株式70%売却により、連結対象から外れましたクロダニューマティクス株式会社関係の受注・売上は前年同期比、それぞれ278百万円、489百万円減少いたしました。

平成19年度の当社グループ受注高は15,064百万円（前年同期比1,009百万円、6.3%減）、また連結売上高は15,401百万円（前年同期比1,225百万円、7.4%減）となりました。利益面につきましても経常利益897百万円（前年同期比595百万円、39.9%減）、当期純利益518百万円（前年同期比418百万円、44.7%減）の結果となりました。



## 精密機器部門

### ボールねじ

当社製品の最大需要先である半導体・液晶製造装置関連業界は、平成18年度後半から低迷が続いてきており、ようやく平成19年年末以降、液晶関係業界に動きが出てきましたが、結局、通期では前年同期比減収となりました。製品のにはボールねじ単体は落ち込みを見せたのに対し、一軸ユニット等のモジュール商品が前年度に引き続き好調に推移しました。また国内需要の低迷に比し、海外市場では、特に中国向けが好調に推移しました。ボールねじの受注高は4,631百万円（前年同期比477百万円、9.3%減）売上高は4,756百万円（前年同期比531百万円、10.1%減）となりました。



売上高	<b>4,756</b> 百万円
前年同期比	<b>10.1%減</b>

### 空気圧機器

平成18年3月のクロダニューマティクス株式会社の株式売却以降、当社グループの空気圧機器の取扱いは、想定通り減少しており、現状では、コンプレッサーを扱うクロダイインターナショナル株式会社の営業活動が中心となっております。受注高は642百万円（前年同期比326百万円、33.7%減）、売上高は655百万円（前年同期比537百万円、45.1%減）となりました。

売上高	<b>655</b> 百万円
前年同期比	<b>45.1%減</b>

## ツーリング・ゲージ

ツーリング製品につきましては、海外向け需要が増加しましたが、主要顧客先である自動車関連業界の設備投資が低調であったことと、当年度後半における一般ユーザーの設備投資減速傾向から全体の売上は横這いとなりました。一方、ゲージ製品の売上は自動車関連業界における設備投資低調により減少となりましたが、油井管ゲージの受注・売上は世界的な石油需要拡大に伴う石油資源開発の活発化を受けて堅調に推移しました。ツーリング・ゲージ製品の受注高は3,088百万円（前年同期比103百万円、3.2%減）、売上高は3,088百万円（前年同期比99百万円、3.1%減）となりました。

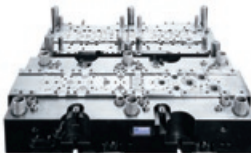


売上高	<b>3,088</b> 百万円
前年同期比	<b>3.1%減</b>

## システム機器部門

### プレス型

主力製品である精密プレス型（当社商品名：FASTEC型）は、第2四半期から受注面で伸び悩み傾向が顕著になりましたが、第4四半期には、大口物件の受注が入り、持ち直しを見せました。一方、ハイブリッド自動車搭載用モーターコアの売上は、モデルチェンジに対応した製品も順調に立ち上がり、好調な売上を計上しております。また、携帯電話搭載用の振動モーター用に代表される超小型コアも、高付加価値のコーティング付きコアの生産能力向上等を背景にその売上を増やしましたが、精密プレス金型の売上減少を補いきれず、プレス型製品全体では、受注高は3,366百万円（前年同期比334百万円、9.0%減）、売上高は3,518百万円（前年同期比275百万円、7.3%減）となりました。



売上高	<b>3,518</b> 百万円
前年同期比	<b>7.3%減</b>

### 工作機械

平面研削盤の受注・売上につきましては、上期はGS-PFシリーズが順調に推移し、また平成18年11月から発売しましたGS-45シリーズも好調な売上を記録しました。下期に入って、スーパーポリシングマシンが好調な出荷を見せましたが、主力の平面研削盤の国内市場は第4四半期には機分調整気味となり、受注の落ち込みが見られました。工作機械の受注高は1,826百万円（前年同期比1百万円、0.1%減）、売上高は1,935百万円（前年同期比107百万円、5.9%増）となりました。



売上高	<b>1,935</b> 百万円
前年同期比	<b>5.9%増</b>

## 精密測定装置他

超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ300TT）は顧客先であるシリコンウェハメーカー各社の300mmウェハの増産体制整備に伴い、前年に引き続き好調な出荷となりました。また、大型液晶テレビの設備投資拡大に伴い液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置（当社商品名：ナノメトロFTT1500）も順調な売上を示しました。医療用機器につきましては、平成18年10月に医療機関向け鬱血・浮腫の軽減、静脈血栓予防の新型マッサージ器『ハドマー300』シリーズを発売開始しましたが、病院経営の独立採算制や診療報酬引き下げにより厳しい市場環境下、苦戦を強いられております。当製品グループの受注高は1,507百万円（前年同期比234百万円、18.4%増）、売上高は1,446百万円（前年同期比111百万円、8.3%増）となりました。

売上高	<b>1,446</b> 百万円
前年同期比	<b>8.3%増</b>

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	10,897	10,095
固定資産	11,813	11,448
有形固定資産	8,866	7,903
無形固定資産	140	132
投資その他の資産	2,806	3,412
<b>資産合計</b>	<b>22,710</b>	<b>21,543</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,092	8,679
固定負債	5,945	4,060
<b>負債合計</b>	<b>14,038</b>	<b>12,740</b>

科目	当期	前期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,672	6,293
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	3,351	2,972
自己株式	△5	△4
評価・換算差額等	1,844	2,387
その他有価証券評価差額金	495	1,047
土地再評価差額金	1,337	1,337
為替換算調整勘定	11	2
少数株主持分	155	121
<b>純資産合計</b>	<b>8,672</b>	<b>8,803</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>22,710</b>	<b>21,543</b>

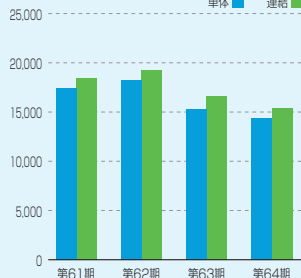
(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 決算ハイライト

### 売上高

単位:百万円

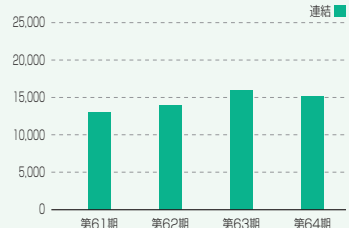
単体 ■ 連結 ■



### うち継続事業ベースの売上高

単位:百万円

連結 ■

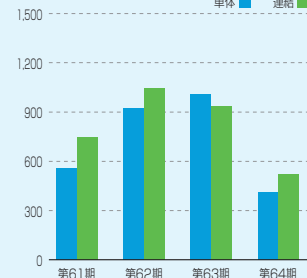


当社経由で販売しております空気圧機器のお客様には、持分法適用関連会社クロダニューマティクス株式会社の直接取引への変更を進めておりますので、継続事業ベースでの売上高を明示しました。

### 当期純利益

単位:百万円

単体 ■ 連結 ■



## ■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
売 上	15,401	16,626
売 上 原 価	11,708	12,307
売 上 総 利 益	3,692	4,318
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,962	3,011
営 業 利 益	<b>730</b>	<b>1,307</b>
営 業 外 収 益	420	389
営 業 外 費 用	253	204
経 常 利 益	<b>897</b>	<b>1,492</b>
特 別 利 益	—	69
特 別 損 失	12	24
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	<b>885</b>	<b>1,537</b>
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	308	547
法 人 税 等 調 整 額	23	24
少 数 株 主 利 益	34	26
当 期 純 利 益	<b>518</b>	<b>937</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日～ 平成20年3月31日	平成18年4月1日～ 平成19年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,633	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,808	△1,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	21
現金及び現金同等物の増減額	691	△1,334
現金及び現金同等物の期首残高	3,267	4,601
現金及び現金同等物の期末残高	3,958	3,267

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

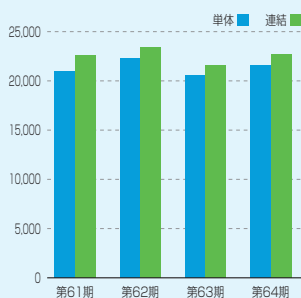
(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	1,875	1,451	2,972	△4	6,293	2,387	121	8,803
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△140		△140			△140
当期純利益			518		518			518
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△543	34	△509
連結会計年度中の変動額合計	—	—	378	△0	378	△543	34	△131
平成20年3月31日残高	1,875	1,451	3,351	△5	6,672	1,844	155	8,672

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

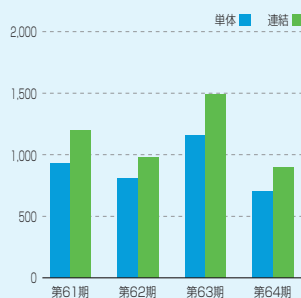
### ■総資産

単位：百万円



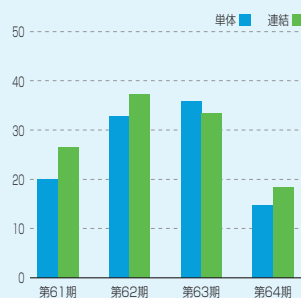
### ■経常利益

単位：百万円



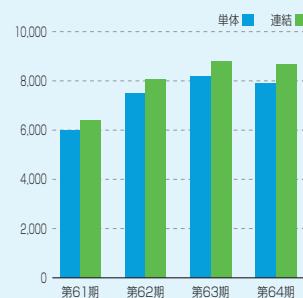
### ■1株当たり当期純利益

単位：円



### ■純資産

単位：百万円



# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	10,093	9,431
現金・預金	3,053	2,982
受取手形・売掛金	3,528	3,317
有価証券	499	—
棚卸資産	2,635	2,747
その他の	376	383
固定資産	11,479	11,110
有形固定資産	8,364	7,389
無形固定資産	137	130
投資その他の資産	2,977	3,590
<b>資産合計</b>	<b>21,573</b>	<b>20,542</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,912	8,482
支払手形・買掛金	2,861	3,343
短期借入金	2,986	2,942
その他の	2,064	2,195
固定負債	5,778	3,894
長期借入金	2,678	764
退職給付引当金	1,900	1,933
その他の	1,199	1,196
<b>負債合計</b>	<b>13,690</b>	<b>12,377</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,050	5,780
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	2,729	2,458
自己株式	△5	△4
評価・換算差額等	1,833	2,384
その他有価証券評価差額金	496	1,047
土地再評価差額金	1,337	1,337
<b>純資産合計</b>	<b>7,883</b>	<b>8,164</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>21,573</b>	<b>20,542</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成19年4月1日～平成20年3月31日	平成18年4月1日～平成19年3月31日
売上高	14,404	15,319
売上原価	11,171	11,913
売上総利益	3,232	3,405
販売費・一般管理費	2,694	2,389
<b>営業利益</b>	<b>537</b>	<b>1,016</b>
営業外収益	415	334
営業外費用	249	195
<b>経常利益</b>	<b>704</b>	<b>1,154</b>
特別利益	22	356
特別損失	11	24
<b>税引前当期純利益</b>	<b>715</b>	<b>1,486</b>
法人税、住民税及び事業税	284	447
法人税等調整額	19	33
<b>当期純利益</b>	<b>410</b>	<b>1,006</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



## 半導体・液晶産業を支えるKURODAの超精密技術 超精密表面形状測定装置“ナノメトロ<sup>®</sup>”

モノづくりの原点は“より精密に測定すること”

KURODAの技術と技能の融合により開発された“超精密表面形状測定装置ナノメトロ”は半導体・液晶産業に大きく貢献しています。



ナノメトロ300TT

### 半導体の微細化を支えるウェハー平坦度検査装置

微細化が要求される半導体の基板となるシリコンウェハーにはさらなる高精度化が求められています。平坦度検査装置ナノメトロは“より精密に測定すること”を追求しウェハーの高精度化・半導体の微細化に貢献する超精密測定が可能となりました。また、KURODAは将来的に注目されているφ450mmウェハーの平坦度測定も視野に入れています。

### ユーザーニーズに応える業界初的大型平坦度測定装置

液晶パネルの高精細化には露光装置に使用されるフォトマスク基板の高精度化が不可欠です。KURODAはお客様のニーズに応え液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置を開発。ブロックゲージ製造により培われた匠の挑戦がナノオーダーの運動精度を実現しました。ナノメトロは液晶テレビの大型化、高精度化に大きく貢献しています。



ナノメトロFTT1500

## ■ 誤差ゼロへの挑戦 ■

KURODAは常に新しいものに挑戦し、新しい価値を創造します

# 会社の概況

## ■会社の概要 (平成20年3月31日現在)

商号 黒田精工株式会社  
本店 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
創業 1925年(大正14年)  
資本金 18億7500万円  
従業員数 499名

## ■連結対象会社の状況 (平成20年3月31日現在)

連結子会社 クロダイインターナショナル株式会社  
クロダプレジジョンインダストリーズ(M)(マレーシア)  
平湖黒田精工有限公司(中国)  
永昇電子株式会社  
持分法適用関連会社 株式会社ゲーシング  
日本金型産業株式会社  
株式会社モールド研究所  
クロダニューマティクス株式会社  
株式会社TGK

## ■当社グループの主要な事業

部門	製品グループ	主要製品
	ボールねじ	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ
精密機器	ツーリング・ゲージ	MCツーリング、専用ツーリング、ハイドロリックツール、微量潤滑油供給装置(当社商品名:エコセーバ)、その他各種保持工具、油井管用ねじゲージ、ねじゲージ、ブロックゲージ、一般ゲージ類
	空気圧機器	電磁弁、アクチュエータ、エアクリーン機器、省配線システム、各種補器類、コンプレッサ
	プレス型	積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)、モータコア型、順送り用精密プレス型、精密金属プレス製品
システム機器	工作機械	平面研削盤(NC機を含む)、スーパーポリシングマシン
	精密測定装置	超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFTT1500)、パルスエンコーダ、医療用機器、電子機器

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
配当金支払株主確定日 3月31日  
定時株主総会 6月  
基準日 定時株主総会については3月31日その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日。  
公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社 本店  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル)  
同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

## お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

●フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

# 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
TEL / 044-555-3800(代表) FAX / 044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>



再生紙を使用し、大豆油を利用したソイ・インキを使用しています。